

図6のように、紹介する側としてのGPの半数以上が「ほとんどない」と回答した。紹介を受ける側のSPEも半年間で10例以下との回答が約70%となっていた。

さらに逆紹介については、SPEからの逆紹介患者として「10例以下」との回答が70%を占め、GPも70%以上で「ほとんどない」と回答している。

最後に、SPEを対象に、

**Q6** GPに逆紹介を行う際に参考にすることは何か？

を質問した。結果は図7に示すように、「患者と医療機関との距離」を上げるものが多かったが、ほかにその「診療科（診療内容）」、「過去の紹介実績」の回答がつついた。さらに旧来の「知己であること」も逆紹介先として選択する際の参考項目としてあげられていた。

#### D. 考察

今回の調査は鹿児島における喘息医療連携システムが発足してから、2年を経た段階での中間評価にあたる。

全体的な結果からは、SPEとGPの間には、診療および意識に関してはまだ隔たりがあることが明らかになった。

まず、診療においては、多くのGPが喘息治療における吸入ステロイドの重要性を認識しているものの、その処方率はSPEに比べてまだまだ十分ではなく、とくに軽症例に対して吸入ステロイドを処方する医師は必ずしも多くはないことが明らかとなった。

さらに吸入ステロイド薬だけで不十分な場合の上乗せ薬として、SPEとGP間で差があったことに関して、ロイコトリエン

拮抗薬が多かったGPは内服薬を好む傾向にあることと、図4にみられるガイドラインの利用度・認知度の違いから、SPEがLABAを第一選択と明記してあるGINAに対する認知度が高かったのに対して、GPはJGLのみか、ガイドラインを知らないという回答もあったこととの関連も考えられ、これらの情報の共有、知識の啓蒙もさらに広く行うべきと思われた。

西尾らは、非専門医が吸入ステロイド薬を処方するプロセスに関する研究において、身近な呼吸器科医とのやりとりや後押しを必要とする考察し、とくに逆紹介の重要性を述べている。現状、図6のように連携システムにおける紹介・逆紹介がまだまだ十分に機能していないことが明らかとなり、少なくともその要因の1つとしてSPEとGPのそれぞれの役割意識の違いがあることも示された。また、図7にあげたような基準でSPEが逆紹介先のGPを選択していることが明らかになったことから、解決策の参考にもなると思われる。

今後、SPEからGPへの逆紹介を増やしていくためには、GPの場所や診療内容がわかるような登録医リストやマップの作成、さらに「知己であること」も重要な参考事項であることから、互いに顔の見える関係を構築すべく地域小勉強会の開催をより緊密に行っていくことなどが計画として考えられている。

フランスでの検討では、専門医に管理されている喘息患者は、一般医に管理されている患者に比べてやはり良好にコントロールされていることが報告されており、急速に専門医を増やすことができない現状では、この医療連携を充実させてSPEとGPだけでなく、コメディカルの参画なども含めた、より

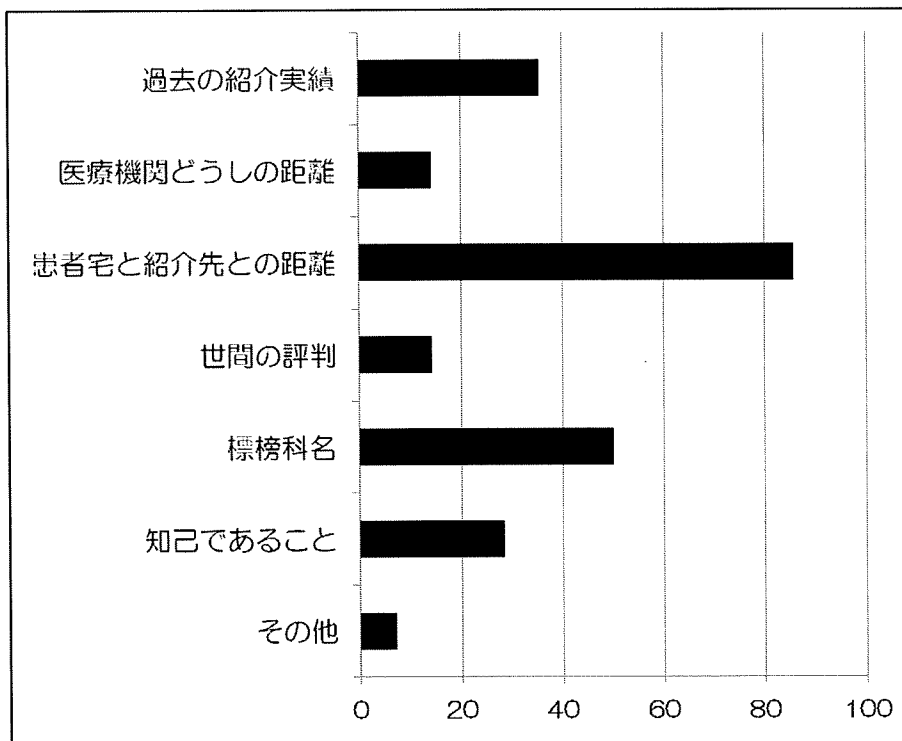


図7  
医療連携（3）  
基幹病院医師  
SPEが医療機関  
に患者を逆紹  
介する際に参  
考にする事項

密接な協力体制を構築していくことが重要であると考えられる。

#### E. 結論

- ・連携システムが発足し2年が経過したが、未だ十分な連携ができていない実態が明らかとなり、今後連携強化の余地があることが明らかとなった。
- ・その要因として、かかりつけ医と基幹病院医師との間にまだ多少なりとも意識の隔たり、診療内容の差が存在することがあげられた。
- ・さらなる連携協力体制の確立のためには、隔たりを埋めていく努力が必要であると考えられた。
- ・今後、システムの強化・発展のためにさらなる仕組みを用意し、充実発展を期す。

#### F. 研究発表

##### 学会発表

- 1) 東元一晃：喘息医療連携における基幹病院とかかりつけ医の意識調査. 第285回日本内科学会九州地方会. 平成21年：北九州市
- 2) 東元一晃：喘息医療連携の現状・鹿児島における基幹病院とかかりつけ医の意識調査. 第59回日本アレルギー学会秋季学術大会. 平成21年：秋田市

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者	論文タイトル	編者	書籍名	出版社	出版地	出版年	頁
『喘息予防・管理ガイドライン2009』作成委員		大田健、秋山一男、西間三馨	『喘息予防・管理ガイドライン2009』	協和企画	東京	2009	
山口正雄、大田 健	7) 吸入ステロイド薬の併用薬の選択順位とその効果のエビデンスは？	秋山一男、池澤善郎、岩田力、岡本美孝	EBMアレルギー疾患の治療	中外医学社	東京	2009	33-36
釣木澤尚実、秋山一男	喘息重症度と段階的薬物療法（長期管理）—成人	竹原和彦、近藤啓文	インフォームドコンセントのための図説シリーズ—喘息改訂3版	医薬ジャーナル社	東京	2009	34-45
佐藤 俊、棟方充	16. c) 運動誘発喘息	福田 健	よくわかる気管支喘息—その診療を極め	永井書店	東京	2009	268-272
山口正雄	I. 呼吸器系の生物学 8. ロイコトリエンと呼吸器疾患	工藤 翔二、金沢 実、大田 健、土屋	Annual Review 呼吸器2009	中外医学社	東京	2009	52-58
山口正雄	アレルギー検出法と皮膚反応、看護学のための最新医学	日野原重明、井村裕夫	第2版 第11巻 免疫・アレルギー疾患	中山書店	東京	2009	96-101
山口正雄、平井浩一	薬剤アレルギー、看護学のための最新医学講座	日野原重明、井村裕夫	第2版 第11巻 免疫・アレルギー疾患	中山書店	東京	2009	304-314
山口正雄	薬剤アレルギーの疫学、診断・治療法、予防・予知法の最近の進歩はどうなっているの	秋山一男、池澤善郎、岩田力、岡本美孝	EBMアレルギー疾患の治療	中外医学社	東京	2009	93-96
山口正雄	アナフィラキシー	小川 聡、伊藤 裕、井廻 道夫、大田 健、他	内科学書。改訂第7版	永井書店	東京	2009	243-244
山口正雄	血清病	小川 聡、伊藤 裕、井廻 道夫、大田 健、他	内科学書。改訂第7版	永井書店	東京	2009	244-245
山口正雄	薬物アレルギー	小川 聡、伊藤 裕、井廻 道夫、大田 健、他	内科学書。改訂第7版	永井書店	東京	2009	245-248
山口正雄	気管支喘息	大内 尉義、秋山 弘子、折茂 肇	新老年病学。第3版	東京大学出版会	東京	2010	927-931

## 論文

著者	論文タイトル	誌名	巻	頁	出版年
Ohta K, Miyamoto T, Amagasaki T, Yamamoto M	1304 Study Group. Efficacy and safety of omalizumab in an Asian population with moderate-to-severe persistent asthma	Respirology	14(8)	1156-1165	2009
Yamamura K, Adachi T, Masuda T, Kojima Y, Hara A, Toda T, Nagase H, Ohta K	Intracellular protein phosphorylation in eosinophils and the functional relevance in cytokine production	Int Arch Allergy Immunol	149 S1	45-50	2009
Suzukawa M, Yamaguchi M, Iikura M, Koketsu R, Komiya A, Nagase H, Nakae S, Matsumoto K, Saito H, Matsushima K, Yamamoto K	IL-33-induced activation of human basophils and eosinophils via ST2	Inflammation and Regeneration	in press		2009
杉山公美弥、相良博典、足立満、美濃口健治、田中明彦、井上洋西、山内広平、小林仁、秋山一男、釣木澤尚実、谷口正実、棟方充、斉藤純平、佐藤俊、三嶋理晃、新実彰男、松本久子、大田健、足立哲也、長瀬洋之、中島裕史、加々美新一	気管支喘息の早期診断基準の提言	アレルギー	57(12)	1275-1283	2009
大田健	喘息死ゼロを目指して	日本内科学会雑誌	98 S1	90-91	2009
宮本昭正、秋山一男、足立満、井上洋西、大田健	成人気管支喘息に対するモメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用散剤とフルチカゾンプロピオン酸エステル吸入用散剤との非盲	アレルギー・免疫	16(5)	716-731	2009
宮本昭正、秋山一男、足立満、井上洋西、大田健	成人気管支喘息に対するモメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用散剤長期投与時の安全性および有効性の検討 他剤吸入ステロイド薬を使用した中等症患者を対象とした52週間長期投与試験	アレルギー・免疫	16(5)	732-745	2009
大田健	世界のガイドラインにおける治療戦略(GINA, JGL) 成人	医薬ジャーナル	45(5)	1349-1357	2009
大田健	喘息予防・管理ガイドライン2006(JGL2006)	成人病と生活習慣病	39(6)	671-675	2009
大田健、美濃口健治	喘息コントロールの理想と現実 医師と患者を対象にしたインターネットによる検討 ACTUAL-I: A Clinical survey To Understand real Asthma Life for Patients-I	アレルギー・免疫	16(9)	1430-1440	2009
長瀬洋之、山下直美、大田健	喫煙曝露がアレルギー性気道炎症と気道過敏性に及ぼす影響 喘息モデルマウスにおける検討	Topics in Atopy	8(1)	46-52	2009
大田健	アレルギー疾患の現況と今後の展望 特に喘息を中心に	日本臨床	67(11)	2033-2038	2009
大田健	気管支喘息ガイドライン2009	呼吸	28(10)	974-980	2009
大田健	喘息の克服を目指して	アレルギー	58(11)	1497-1501	2009
釣木澤尚実、秋山一男	重症喘息の病態生理	アレルギー免疫	16	1514-1522	2009
Shin Ohta, Naruhito Oda, Takuya Yokoe, Akihiko Tanaka, Yoshitaka Yamamoto, Yoshio Watanabe, Kenji Minoguchi, Tsukasa Ohnishi, Takashi Hirose, Hirovuki Nagase, Ken	Effect of Tiotropium Bromide on Airway Inflammation and Remodeling in a Mouse Model of Asthma 2010	Clin Exp Allergy	in press		2009
足立満	患者の症状にあわせた理想的な喘息管理・治療戦略 シムビコートタービュヘイラーによる AMD:Adjustable Maintenance	アレルギー・免疫	16(6)	888-894	2009
足立満、田中明彦	ステロイドの使い方 気管支喘息に対するステロイドの使い方	日本医師会雑誌	138(6)	1554-1155	2009
Kurokawa M, Konno S, Takahashi A, Plunkett B, Rittling SR, Matsui Y, Kon S, Morimoto J, Uede T, Matsukura S, Adachi M, Nishimura M	Regulatory role of DC-derived osteopontin in systemic allergen sensitization	Eur J Immunol	39(12)	3323-30	2009
Ohbayashi H, Shibata N, Hirose T, Adachi M	Additional effects of pranlukast in almeterol/fluticasone combination therapy for the asthmatic distal airway in	Pulm Pharmacol Ther	22(6)	574-9	2009

著者	論文タイトル	誌名	巻	頁	出版年
足立満, 松永和人, 一ノ瀬正和		アレルギー・免疫	16(2)	248-259	2009
足立満	日本人成人気管支喘息患者におけるホルモテロール4週間吸入投与時の有効性および安全性の検討 ホルモテロール後期第II相試験	アレルギー・免疫	16(11)	1778-1788	2009
Kurokawa M, Konno S, Matsukura S, Kawaguchi M, Ieki K, Suzuki S, Odaka M, Watanabe S, Homma T, Sato M, Takeuchi H, Hirose T, Huang	Effects of corticosteroids on osteopontin expression in a murine model of allergic asthma	Int Arch Allergy Immunol.	149 Suppl 1	7-13	2009
Satoko Iwasaki, Yuriko Kikuchi, Yuji Nishiwaki, Maiko Nakano, Takehiro Michikawa, Tazuru Tsuboi, Shigeru Tanaka, Takamoto Uemura, Ai Ishigami, Hiroshi Nakashima, Toru Takebayashi, Mitsuru Adachi, Akihiro Morikawa, Kouichi Maruyama, Shouji Kudo, Iwao Uchiyama and Kazuyuki Omae	Effects of SO2 on Respiratory System of Adult Miyakejima Resident 2 Years after Returning to the Island	J Occup Health	59	38-47	2009
足立 満, 廣瀬 敬	One point message of JGL 2007 proposal of new classification of asthma severity in adult	アレルギー	58(7)	753-9	2009
足立 満, 廣瀬 敬	気管支喘息 診断と治療の進歩 喘息疫学の動向 喘息死ゼロをめ	日本内科学会雑誌	98(12)	2992-2	2009
黒川真嗣, 足立満	気管支喘息における気道の慢性炎症へのT細胞の役割	東京都医師会雑誌	62(6)	68-690	2009
Hashimoto K, Mori S, Hashimoto Y, Kaneko H, Ishibashi K, Ishioka K, Kawasaki Y, Peebles RS, Munakata M,	DSCG reduces RSV-induced illness in RSV-infected mice	J Med Virol	81	354-61	2009
峯村浩之, 谷野功典, 仲川奈緒子, 関根聡子, 金沢賢也, 齋藤純平, 石田 卓, 棟方 充	エリスマイシン少量投与により改善したびまん性汎細気管支炎の1例	Therapeutic Res	30	1305-7	2009
齋藤香恵, 谷野功典, 猪腰弥生, 佐藤 俊, 大島謙吾, 石井妙子, 仲川奈緒子, 福原敦朗, 金沢賢也, 齋藤純平, 石田 卓, 引地 拓人, 入澤篤志, 大平弘正, 棟	経消化管的超音波内視鏡下縦隔リンパ節穿刺吸引生検で診断したサルコイドーシスの3例	日呼吸会誌	47	996-1001	2009
仲川奈緒子, 谷野功典, 猪腰弥生, 佐藤 俊, 石井妙子, 齋藤香恵, 福原敦朗, 金沢賢也, 齋藤純平, 石田 卓, 棟方 充	FDG-PETで集積亢進を認めた M. intracellulare肺感染症の1例	日呼吸会誌	47	122-127	2009
齋藤純平, 尾形浩	その症状、なんの病気、咳嗽 (1)-咳嗽の定義と急性咳嗽、	Clinical pharmacist	2	162-170	2009
齋藤純平, 尾形浩	その症状、なんの病気、咳嗽 (2)-遷延性・慢性咳嗽	Clinical pharmacist	3	278-285	2009
齋藤純平, 尾形浩	その症状、なんの病気、喘鳴 (1)	Clinical pharmacist	4	396-400	2009
齋藤純平, 尾形浩	その症状、なんの病気、喘鳴 (2)	Clinical pharmacist	5	509-512	2009
齋藤純平, 尾形浩	その症状、なんの病気、呼吸困難	Clinical pharmacist	6	609-614	2009
齋藤純平, 棟方充	吸入ステロイド薬を投与している喘息患者における長時間作用型β刺激薬の安全性: 系統的レビューとメタアナリシス	International Review of Asthma & COPD	11	40-43	2009
佐藤俊, 齋藤純平, 棟方充	新しい臨床検査... 呼吸器・アレルギー 呼気一酸化窒素(NO)測定-気管支喘息の炎症マーカー	診断と治療	97(9)	1767-1772	2009
齋藤純平 他	呼気一酸化窒素濃度 (FeNO) 測定値には機種差がある	日呼吸会誌	in press		2009
Tadaki H, Arakawa H, Mizuno T, Suzuki T, Takeyama K, Mochizuki H, Tokuyama K, Yokota S, Morikawa A	Double-stranded RNA and TGF-alpha promote MUC5AC induction in respiratory cells	J Immuno	182(1)	293-300	2009

著者	論文タイトル	誌名	巻	頁	出版年
西間 三馨、崎山 幸雄、森川 みき、角田 和彦、吉原 重美、森川 昭廣、河野 陽一、西牟田 敏之、十字 文子、相原 雄幸、縣裕篤、伊藤 浩明、宇理須 厚雄、近藤 直実、眞弓 光文、平家 俊男、伊藤 節子、末廣 豊、有田 昌彦、古川 漸、滝崎 雄平	小児アレルギー疾患におけるアレルギー感作の全国調査	日本小児アレルギー学会誌	20(1)	109-118	2009
南部 光彦、古庄 卷史、森川 昭廣、西間 三馨、ガイドライン2005作成委員	小児気管支喘息治療・管理に関する小児科医へのアンケート調査2005	日本小児アレルギー学会誌	20(5)	505-512	2009
森川 昭廣、西間 三馨、西牟田 敏之	本邦における小児気管支喘息患者の実態と問題点—喘息患者実態電話調査 (AIRJ) 2005より	日本小児アレルギー学会誌	23(1)	113-122	2009
西牟田 敏之、佐藤 一樹、海老澤 元宏、藤澤 隆夫、水内 秀次、池田 政憲、小田嶋 博、久田 直樹、熊本 俊則、西間 三	Japanese Pediatric Asthma Control Program (JPAC) と Childhood Asthma Control Test (C-ACT) との相関性と互換性に関する調査	日本小児アレルギー学会誌	23(1)	129-138	2009
西間 三馨、西牟田 敏之、森川 昭廣	小児気管支喘息患者におけるサルメテロール/フルチカゾンプロピオン酸エステル配合剤の加圧式定量噴霧式吸入器 (pMDI) による治療とサルメテロール及びフルチカゾンプロピオン酸エステルの併用療法との臨床的比較及び長期投与	日本小児アレルギー学会誌	23(1)	147-160	2009
小田嶋 博、松井 猛彦、赤坂 徹、赤澤 晃、池田 政憲、伊藤 節子、海老澤 元宏、坂本 龍雄、末廣 豊、西間 三馨、森川 昭廣、三河 春樹、鳥居 新平	喘息重症度分布経年推移に関する多施設検討	日本小児アレルギー学会誌	23(3)	321-332	2009
#####	Japanese pediatric guideline for the treatment and management of bronchial asthma	Pediatr. Int	in press		
Yamada A, Ohshima Y, Yasutomi M, Ogura K, Tokuriki S, Naiki H, Mayumi M	Antigen-primed splenic CD8+ T cells impede the development of oral antigen-induced allergic diarrhea	J Allergy Clin Immunol	123	888-94	2009
徳力周子、塚原宏一、巨田尚子、田村知史、小倉一将、川谷正男、畑郁江、眞弓光文	早産児の慢性肺疾患における酸化ストレスの病態学的意義についての検討: CO-HbとMet-Hbを指標とし	小児科臨床	62	925-930	2010
大嶋勇成	小児アレルギー 喘息、湿疹、ポリシーが必要だ	内科	103	577-582	2011
大嶋勇成	衛生仮説2009	小児科診療	72	1219-1224	2012
安富素子、大嶋勇成、眞弓光文	内分泌攪乱物質とアレルギー	臨床免疫・アレルギー科	53	69-73	2010
大嶋勇成	食物アレルギーと腸管免疫	小児科診療	in press		
大嶋勇成	大嶋勇成 食物アレルギーの治療機転	アレルギー・免疫	in press		
Morimoto M, Matsui E, Kawamoto N, Sakurai S, Kaneko H, Fukao T, Iwasa S, Shiraki M, Kasahara K, Kondo N	Age-Related changes of Transforming Growth Factor $\beta$ 1 in Japanese children	Allergol Int	58	97-102	2009
Kondo N, Nishimura T, Nishima S, Morikawa A, Aihara Y, Akasaka T, Akazawa A, Adachi Y, Arakawa H, Ikarashi T, Ikebe T, Inoue T, Iwata T, Urisu A, Ebisawa M, Ohya Y, Okada K, Odajima H, Katsunuma T, Kameda M, Kurihara K, Kohno Y, Sakamoto T, Shimojo N, Suehiro Y, Tokuyama K, Nambu M, Hamasaki Y, Fujisawa T, Matsui T, Matsubara T, Mayumi M, Mukoyama T	Japanese pediatric guideline for the treatment and management of bronchial asthma 2008	Pediatr Int	in press		
Y Hitomi, M Ebisawa, M Tomikawa, T Imai, T Komata, T Hirota, M Harada, M Sakashita, Y Suzuki, N Shimojo, Y Kohno, K Fujita, A Miyatake, S Doi, T Enomoto, M Taniguchi, N Higashi, Y	Associations of functional NLRP3 polymorphisms with susceptibility to food-induced anaphylaxis and aspirin-induced asthma	Journal of Allergy and Clinical Immunology	124(4)	779-785	2009

著者	論文タイトル	誌名	巻	頁	出版年
Motohiro Ebisawa	Management of Food Allergy in Japan "Food Allergy Management Guideline 2008 (Revision from 2005)" and "Guidelines for the Treatment of Allergic Diseases in Schools"	Allergology International	58(4)	475-483	2009
Takatsugu Komata, Lars Söderström, Magnus P. Borres, Hiroshi Tachimoto, Motohiro	Usefulness of Wheat and Soybean Specific IgE Antibody Titers for the Diagnosis of Food	Allergology International	58(4)	599-603	2009
M Harada, T Hirota, A I Jodo, S Doi, M Kameda, K Fujita, A Miyatake, T Enomoto, E Noguchi, S Yoshihara, M Ebisawa, H Saito, K Matsumoto, Y Nakamura, S F	Functional analysis of the Thymic Stromal Lymphopoietin Variants in Human Bronchial Epithelial Cells	Am. J. Respir. Cell Mol. Biol.	40(3)	368-74	2009
Motohiro Ebisawa	How to Cope with Allergic Diseases at Schools in Japan From the standpoint of a pediatric allergist	Japan Medical Association Journal	52(3)	164-167	2009
小俣貴嗣, 宿谷明紀, 今井孝成, 田知本寛, 海老澤元宏	ブラインド法乾燥食品粉末食物負荷試験に関する検討(第1報) —非加熱全卵・卵黄負荷試験—	アレルギー	58(5)	524-536	2009
小俣貴嗣, 宿谷明紀, 今井孝成, 田知本寛, 海老澤元宏	ブラインド法乾燥食品粉末食物負荷試験に関する検討(第2報) —牛乳負荷試験—	アレルギー	58(7)	779-789	2009
Yamaguchi J, Aihara M, Kobayashi Y, Kambara T, Ikezawa Z	Quantitative analysis of nerve growth factor (NGF) in the atopic dermatitis and psoriasis horny layer and effect of treatment on NGF in atopic	J Dermatol Sci	53(1)	48-54	2009
Yamane Y, Moriyama K, Yasuda C, Miyata S, Aihara M, Ikezawa Z, Miyazaki K	New Horny Layer Marker Proteins for Evaluating Skin	Int Arch Allergy Immunol	150	89-101	2009
池澤善郎	アトピー性皮膚炎の痒みとその治療の将来	Q&Aでわかるアレルギー疾	5	7-18	2009
池澤善郎	アトピー性皮膚炎は治療を早く始めれば予後は良いのでしょうか?	Q&Aでわかるアレルギー疾	5	200-202	2009
池澤善郎, 井上雄介, 相原道子, 田中貴美代, 田中良知, 蒲原桐野実緒, 池澤善郎	アトピー性皮膚炎の発症・悪化における皮膚バリアー障害の役割とアトピー性皮膚炎のスキンケア	日本小児科学会雑誌	28	41-46	2009
Okamoto Y, Horiguchi S, Yonekura S, Yamamoto H, Hanazawa T	Present situation of cedar pollinosis in Japan and its immune responses	Allergology International	28(2)	152-162	2009
岡本美孝, 米倉修二, 吉江うらら	高齢者のアレルギー性鼻炎: 感作, 発症, 治療	アレルギーの臨床	29(6)	485-490	2009
Yamaguchi M, Koketsu R, Suzukawa M, Kawakami A,	Human basophils and cytokines/chemokines	Allergol Int	58(2)	1-10	2009
Fujisawa T, Nagao M, Hiraguchi Y, Hosoki K, Tokuda R, Usui S, Masuda S, Shinoda M, Hashiguchi A, Yamaguchi M	Biomarkers for allergen immunotherapy in cedar pollinosis	Allergol Int	58(2)	163-170	2009
Suzukawa M, Yamaguchi M, Iikura M, Koketsu R, Komiya A, Nagase H, Nakae S, Matsumoto K, Saito H, Matsushima K, Yamamoto K,	IL-33-induced activation of human basophils and eosinophils via ST2	Inflammation and Regeneration	in press		
山口正雄	好塩基球とアレルギー	好塩基球とアレルギー	35(2)	59-61	2009
山口正雄	抗IgE療法の意義と可能性	Medical Practice	26(3)	449-450	2009
山口正雄	薬物アレルギー	メディカル朝日	38(3)	34-37	2009
山口正雄	胸部X線が注意を引いた膠原病症例/この1週間呼吸困難感が強いと訴えた気管支喘息症例/両側下腿浮腫と膝関節違和感で来院した若い女性例. 診断力をみがくイメージ	内科	103(5)	953-958	2009
山口正雄, 瀬藤力也	薬物アレルギー—どのように説明して検査を行っているのか	アレルギーの臨床	29(12)	1063-1069	2009
山口正雄, 瀬藤力也	薬物アレルギー	実験医学	27(20)	200-206	2009
Isada A, Konno S, Hizawa N, Tamari M, Hirota T, Harada M, Maeda Y, Hattori T, Takahashi A, Nishimura M	A functional polymorphism (-603A>G) in the tissue factor gene promoter is associated with adult-onset asthma	J Hum Genet	in press		

著者	論文タイトル	誌名	巻	頁	出版年
Hizawa N	Genetic Backgrounds of Asthma and COPD	Allergol Int	58(3)	307-314	2009
Hizawa N	Beta-2 adrenergic receptor genetic polymorphisms and	J Clin Pharm Ther	34(6)	631-43	2009
Konno S, Takahashi D, Hizawa N, Hattori T, Takahashi A, Isada A, Maeda Y, Huang SK, and Nishimura M	Genetic Impacts of a Butyrophilin-like 2 (BTNL-2) Gene Variation on Specific IgE Responsiveness to Dermatophagoides farinae (Der	Allergol int	59	29-35	2009
Kawaguchi M, Fujita J, Kokubu F, Huang SK, Homma T, Matsukura S, Adachi M, Hizawa N	IL-17F-induced IL-11 release in bronchial epithelial cells via MSK1-CREB pathway. Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol	Epub ahead of print			
Takahashi A, Kurokawa M, Konno S, Ito K, Kon S, Ashino S, Nishimura T, Uede T, Hizawa N, Huang SK, Nishimura	Osteopontin is involved in migration of eosinophils in asthma	Clin Exp Allergy	39 (8)	1152-9	2009
檜澤伸之	アレルギー疾患の関連遺伝子とテラーメイド医療	アレルギーの臨床	29 (3)	16	2009
檜澤伸之	成人喘息の理想的コントロールと	日本医事新報	4444	70-71	2009
檜澤伸之	気腫病変と遺伝子多型	分子呼吸器病	14 (1)	24-25	2009
森島祐子, 檜澤伸之	気管支喘息 サイトカインをターゲットにした新たな治療の可能性	炎症と免疫	17 (5)	588-593	2009



アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および  
生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究

平成 22 年 5 月 28 日

研究代表者 大田 健

東京都板橋区加賀 2-1 1-1

帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科

